

社会福祉法人

とやま虹の会だより

<http://www.nijinokai.net/>

2018.5.25

77

とやま虹の会広報誌

New Face!



ようこそ とやま虹の会へ

新年度のご挨拶

とやま虹の会 理事長

大野 孝明



新年度を迎え、みなさま方には、本年度もどうぞよろしくお願いたします。

4月より医療と介護の報酬が同時に改定され、「医療と介護の連携強化」「自立支援を基本としたケアの推進」「助け合いによる地域共生社会の実現」などが強調されました。高齢社会の進行による社会保障費増大への対応とはいえ、実態は国民の負担増大と利用制限、自己責任が強化される深刻な事態です。

私たちは、地域の方々と力を合わせて、充実した介護と福祉のまちづくりをめざして努力を続けます。

新卒職員紹介

Q & A

- Q 趣味は何ですか？
 Q 初任給でなにを買いますか？
 Q 一言お願いします。
 (抱負など思っていることを自由に)

ANSWER

- A1. 旅行と動画を見ることです。1人でどこかに出かけることもあります。動画では、YouTubeでよく見えています。また、動物のパンダが好きなので、パンダグッズも地味に集めています。
 A2. 親かお世話になった人をご飯に連れていきたいです。
 A3. 社会人としても介護福祉士としてもまだまだ未熟ですが、多くの利用者さんから頼っていただけるようになります。これからご指導の方、よろしくお願いします。



ひろあき
広明 ゆきの
 レインボー
 生活看護課



ANSWER

- A1. イラストをかくことです。ゆるい雰囲気にかくことが好きです。
 A2. 自分のパソコンが欲しいです。
 A3. 皆様の役にたてるように頑張りたいです。



たかしま りかこ
高島 里佳子
 レインボー
 生活看護課



ANSWER

- A1. 趣味はサイクリングです。休日で天気の良い日には自転車でプラプラとサイクリングをしています。
 A2. 私は初任給で母親にプレゼントを買いたいです。今まで母子家庭で1人で育ててきてくれたので、その感謝としてプレゼントをなにか買いたいです。
 A3. 介護の専門職として働いていく上で、介護技術の向上に努めていきたいです。



うお ゆうき
外尾 友輝
 しらいわ苑
 こもれび



中嶋 洋之

特別養護老人ホームしらいわ苑こもれび
 介護福祉士



こもれびのユニットリーダー。ケアアマネの資格もゲット! 向上心を持ってチャレンジし続ける男子です。

永森 勇樹

特別養護老人ホームしらいわ苑こもれび
 介護福祉士



恵まれた体格ながら、軽やかな身のこなし、ソフトな声かけ。入居者からもギャップ萌え続出とか…。

貝川 直樹

特別養護老人ホームしらいわ苑こもれび
 介護福祉士



新緑のわかばのように、いつも若々しい貝川さん。気取ることなく、慌てることなく、流されることなくこれからも突き進む。

愛しのシマリス

井下 文夫

特別養護老人ホームしらいわ苑こもれび
 介護福祉士



利用者さんの隣に座り、じっくりと話し込み、時にはテキパキと業務をこなす、きれい好きで几帳面な育メンパパです。



愛息を子守中

介護老人保健施設

レインボー

[連絡先] 富山市水橋新堀1番地 ☎076-478-4784



デイケア

EVENT

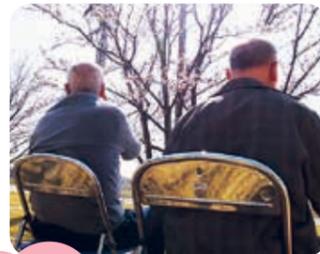
4月・お抹茶で春を満喫

今年は、桜の開花が早く、花見を兼ねたお茶会とはなりませんでした。皆さん自由な流派のお点前を拝見させて頂きました。

好みのお茶碗を選び、お茶菓子と抹茶で、ゆったりとした時間の流れを楽しみました。

お茶を点てるのは久しぶりとの声が多い中、なかなかの腕前で、若い職員の点前を指導して下さる姿も見えました。

男性利用者にお茶を点てる女性利用者もおられ、作法を見よう見真似でする様子も伺え、和気あいあいとした時間をすごしました。



デイケア・自立支援の実践報告

～“できること”から、“していること”へ～

体のどこかが動かしづらくなっても、やりたい、やってみようという気持ちがあれば、工夫次第でやれることはあるはず。

デイケアでは、自分でできる事・やりたい事を掘り起こし、実際に動作を体験・練習していただき、自信を持って、実生活でしている事へとつなぐお手伝いをしています。

今回は右片麻痺の方が“きゅうりの塩もみ”にチャレンジ。自宅で、自分の食べたいものを作りたいという思いを聞き取り、**作業療法士***が調理に必要な動作を分析し、利用者さんが実践しやすい方法をいっしょに模索しました。片手ではできないと諦めていた利用者さんでしたが、上手く作る事ができました。

※作業療法士 (OT) とは、「食べる、入浴、モノをつくる」など生活するうえで必要な機能の回復、また作業を通して心のケアも行います。



特別養護老人ホーム

しらいわ苑こもれび

[連絡先] 富山市水橋新堀17番地の1 ☎076-479-2080



1日の様子 その2 ～顔なじみで安心～

こもれびでの職員配置は、極力ユニットに同じ職員が固定配置できるよう配慮しています。

以前であれば毎回サポートする職員が違うことで不安に思う方もおられたかもしれませんが、ユニットでは4～5名の決まった職員が日々関わることで、なじみの関係も生まれ、入居者の皆さんからも安心の声ももらいます。

ユニットケアならではの関係性です。

新入職員の紹介

高橋里奈(介護福祉士)
こもれび1F



WELCOME!



特別養護老人ホーム

しらいわ苑

[連絡先] 富山市水橋新堀17番地の1 ☎076-479-2080



デイサービス

先日、しらいわ苑デイサービスの投稿記事が

北日本新聞「小山薫堂賞」に選ばれました!!

同じ町内の100歳同士の同級生がデイサービスで再会!

「また会おう」と握手をされた時はホール内の皆さん感動の涙でいっぱいでした。

感動をありがとうございます☆

初めての大根餅作り

レシピ*

小麦粉と大根おろしを混ぜて、ホットプレートでこんがり焦げ目を付けて塩を少々。

初めて皆さんで作ってりましたが、おっ!おいしい!大好評でした☆



出典：北日本新聞朝刊
2018.4.6版



玄関先で皆さんが作られた
装飾がデイの自慢です☆
ぜひ見に来てね～



こーる・あいさん来られて、
あ～いっぱい歌った歌った!



デイサービスホール内、
少し配置変えをしました!



EVENT

2017年度 ボランティア交流会を開催しました

3月11日曜日にボランティア交流会を行いました。

ボランティアさんは、12団体・計23名の方が参加くださいました。日頃の感謝の気持ちを精一杯伝えられたらと、普段は見る側の職員12名と一緒に踊りを披露し、またボランティアさんの1年分の活動をまとめたDVDを見ていただきました。踊りの時には、ボランティアさんも一緒に踊って下さり、大いに盛り上がりました。

最後には、開催日が「3月11日」という事もあり、みんなで「花は咲く」を合唱し交流会を終えました。

ボランティアさんと一緒に踊りを楽しみ、お話できた時間はとても貴重だと感じています。

これからも、ますますお元気でボランティアの皆さんが、かけはし・やすらぎに来て下さるのを利用者の皆さんと一緒に楽しみに心待ちにしております。



岩河所長の開会の挨拶



談笑し和やかな雰囲気です

またのお越しをお待ちしております!



「花は咲く」を合唱



EVENT

「贅沢なお味噌汁」



やすらぎの郷では、生活リハビリとして料理に取り組んでいます。必ず作るのは、野菜たっぷりの味噌汁と愛情たっぷりのおやつです♪

いろんな作業を通して、今できることをいつまでも続けられるよう実践中です♪皆さん、料理は大得意で、みんなでワイワイおしゃべりしながら、楽しく作っています

やすらぎの郷には、小さな畑もあります。この畑で、お味噌汁に使う玉葱、じゃが芋などの季節に応じた野菜を育てています。野菜が大きく育っていくのも、皆さんの楽しみの一つになっています♪



① 畑で味噌汁に使う玉葱を育てています♪



② 皆さんで協力して野菜を切っていました。



いただきます!



③ 美味しいお味噌汁が完成♥

「オレンジカフェ水橋」

地域交流・喫茶にて月1回開催している「オレンジカフェ水橋」。認知症の方や家族をはじめ、地域の誰もが立ち寄る事の出来る場所です。これまで、健康体操、笑いヨガ、絵手紙や手作りブローチ、法話会、蕎麦打ちの実演・試食など、毎回多彩なメニューで認知症の方を介護する家族や地域住民が息抜き出来る時間を作ってきました。

6月には三郷保育園の園児さんに遊びに来ていただきます。

毎月第4木曜日の午後2時から約2時間、参加費300円。毎回季節感あふれる自家製スイーツも魅力です。

一度いらしてみませんか？



認知症カフェ「オレンジカフェ水橋」が30日、富山市水橋新堀の特別養護老人ホームしらいわ苑で開かれ、1人暮らしのお年寄りら約30人が楽しいひとときを過ごした。

三郷校下民生委員会（稲垣啓子会長）が中心となって3月から開催している。4回目の今回は、クラフトテープを使った花形のブローチを作ったり、松ぼっくり

1人暮らし高齢者 水橋にぎやか手芸交流

りにカラフルなフェルトなどをあしらったクリスマス飾りを作ったりした。絵手紙作りのコーナーでは、筆遣いや色塗りのコツを教わり、ピーマンやユズを題材に思い思いの作品を完成させた。

稲垣会長は「認知症の人や家族、健常者らが気軽に情報交換や交流ができ、地域の人に愛されるカフェにしていきたい」と話している。



ブローチ作りを楽しみ参加者

出典：北日本新聞 webun
2017.12.1 版

「介護ボランティア養成講座開催」

3月20日、ミューズ2階文化教室において、介護ボランティア養成講座が開催されました。利用者のご家族や、日頃から虹の会の施設で手芸活動や催し物のボランティアをされている方など16人が参加されました。

しらいわ苑加藤まゆみ施設長による「施設ボランティアの役割と留意点」、水橋南地域包括支援センターによる「高齢者の特性と対応」の講義の後、実習として車椅子の操作体験がありました。また先輩ボランティアの方から、体験を通して感じた事を語っていただき、お弁当を食べながら懇談しました。

富山市社会福祉協議会の富永さんからボランティア登録の話があり、最後に虹の会・池田専務から参加者全員に修了証が授与されました。

参加者からは、「説明もよく、大変わかりやすい話でした。」「生きていく上で必要なことばかりで参考になりました」「福祉とは一みんなが幸せになることと納得しました」「認知症の方には①驚かせない、②急がせない、③自尊心を傷つけない、印象的な言葉で勉強になりました。」「車いすに座ってみるとスピードが速く、声掛けは大切だと感じました。」「私もできる事から協力したい。」など好評でした。ある方からは、「専門職はプロとしてサポートいただき、ボランティアはしっかりと研修を聞き、理想の施設『虹の会』を作りましょう。」との温かい言葉を頂き、大変勇気づけられました。

介護ボランティア養成

富山 社会福祉法人とやま虹の会（富山市水橋新堀）は20日、同市水橋市江のショッピングセンターミューズで介護ボランティア養成講座を開いた。

同法人は水橋地区で介護施設を運営しており、施設で活動してもらおうボランティアを増やそうと開催。水橋地区の16人が受講した。

同法人の松尾守地域福祉部長が



「高齢者のことをもう一步深く学び、ボランティア活動をより豊かにしてほしい」とあいさつ。特別養護老人ホームしらいわ苑の加藤まゆみ施設長一写真左一が心構えについて講義し、「相手に対する思いやりのある活動をお願いしたい」と呼び掛けた。車いすの操作体験や先輩ボランティアとの懇談、高齢者の特性を学ぶ講義もあり、参加者は理解を深めた。

出典：北日本新聞 webun
2018.3.22 版

「車いすの操作法」
レインボー
理学療法士 堀さん

